

平成24年2月県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 健康福祉政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>1. 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 「社会保障と税の一体改革」について</p> <p>ア 年金支給額の大幅削減と支給開始年齢の引き上げ、介護保険利用料や医療費窓口負担増、「子ども・子育て新システム」の導入など、社会保障の切り捨てメニューばかりの「改革」で県民の暮らし・福祉が守れると考えているのか。</p> <p>イ 「社会保障と税の一体改革」は、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保証した憲法第25条を否定するものだと考えるがどうか。</p>	<p>(一括答弁)</p> <p>1 厳しい財政状況の中、今後も増加が見込まれる年金、医療、介護等の社会保障サービスを安定して提供するため、社会保障を充実しながら、持続可能性を確保するための制度改革は、必要であると考えております。</p> <p>2 政府の「社会保障・税一体改革大綱」においては、「社会保障の充実・安定化の財源を確保」し、「必要な人に必要なサービス・給付が適切に行われる社会保障制度を構築」することを目指すものとされております。</p> <p>3 政府は、中長期的に持続可能なものとして、国民が信頼できる社会保障の仕組みを示して、しっかり説明することが重要であると考えております。</p>	<p>千葉県知事 森田 健作</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 税務課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>(1)「社会保障と税の一体改革」について</p> <p>ウ 消費税の増税は、県民の暮らしや地域経済に取り返しのつかない打撃を与えると思うがどうか。</p> <p>エ 庶民に増税するのではなく、大企業や大資産家に応分の負担を求めるべきと思うがどうか。</p> <p>(再質)</p> <p>消費税の増税によって地域経済や税収にも大きなマイナスの影響がでると思われるが、これについて、どのように認識しているのか。</p> <p>安定的な財源の確保のために、消費税だけではなく、法人税や所得税も増税の対象に加えるべきと思うが、どうか。</p>	<p>1 今後、社会保障を持続可能な行政サービスとして提供していくためには、安定的な財源の確保が必要でございます。</p> <p>2 その主な財源として、世代間、世代内の公平が確保され、世代を通じた幅広い国民が負担する消費税の拡充がふさわしいものと認識しています。</p> <p>3 しかしながら、先ほども申し上げましたが、まず増税ありきではなく、政府として、中長期的な持続可能なものとして国民が信頼できる税を含めた社会保障の仕組みを示して、しっかり説明することが重要であると考えております。</p> <p>今回閣議決定された社会保障と税の一体改革大綱においては、消費税率を引き上げる際には経済状況を総合的に勘案したうえで実施をすることが明記されております。</p> <p>高額所得者に対しては所得税などの一定の負担増を求めることも明記してあります。</p> <p>更に地方法人特別税及び地方法人特別譲与税については、税制の抜本的な改革において偏在性の小さい地方税体系の構築が行われるまでの間の措置であり、一体改革に合わせて抜本的に見直すこととされております。</p> <p>更に今回地域主権改革の推進と国と地方を通じた社会保障制度の安定財源の確保の観点から地方消費税と関連した地方交付税の地方の取り分の増についても明記されております。</p> <p>いずれにしても、まず増税ありきではなく、中長期的に持続可能なものとして政府として国民が信頼できる、しっかりとした議論ができるような税を含めた社会保障の仕組みを示したうえで、しっかりと説明し、国会で議論していただくことが重要であると考えております。</p>	<p>知事 森田 健作</p> <p>総務部長 小宮大一郎</p>